



弦楽四重奏の伴奏で校歌の斉唱

祝 鉢盛中学校創立50周年

昭和40年5月2日に今井中学校・山形中学校・朝日中学校を統合して開校。平成27年に50年を迎えました。

昨年11月21日(土)に開校50周年記念式典が、全校生徒約480人、保護者、関係者らが参列して行われました。

これまでの中学校生活を記録したスライド上映や、NHK交響楽団員による弦楽四重奏コンサートも行われ、式典に華をそえました。

開校当時の様子を、館報(第17号昭和40年7月)より抜粋します。
『あらたな希望と夢を宿した鉢盛中学校新設の発表とともに、去る5月1日今井中学校の廃校式が行われました。22年4月、今井中学校を開校し、その間18年喜びと悲しみを経験の中に残して来たのであります。また、我が子が、我が孫のよりよき学びの場を与えんが為、村を分けての菅野中への組合立加入反対の闘いが追憶をする時鉢盛中学校の発足は成るべくして、成り得た最良の終着点であったように思われます。』
5月2日には、朝日中学校で、組合立鉢盛中学校の開校式が行われ、新校舎の出来上る42年迄、朝日を本校とし、今井を部校として運営されることになりました。』



・表平々校
山をの山
はなな中
三鉢し、わすれに表わす。

11月5日(木)鉢盛中学校体育館には生徒とPTA及び一般の方700名が集まりました。講師は卒業生で現在声優として活躍中の羽多野渉さん。声優への夢を小学校から抱き、高校への進路決めでは自分の思いを両親に話し説得。地元の高校を卒業後上京、いよいよ夢を叶えるための汗と努力の日々が始まりました。「声優のオーディションを受けるが、全然決まらず2年間は厳しい現実を突きつけられました。が、自分のやりたいことは声優なんだ」と、心の底から湧き出る思いは変わありません。その後事務所の後押しもあり、アニメ主人公のライバル役の仕事が決まりました。何でもやっておいて損は無い、みなさんも好きなことを大切に、頑張ってください。」軽妙で、飾らない語り口、時々起こる笑い、鉢盛中の先輩はプロとして日々研鑽しています。そんな姿に清々しさと元気を頂きました。

PTA記念講演会開かれる
—夢を諦めず・道開く—



前校舎(昭和42年竣工)

鉢盛中学校 昭和四十二年卒業
島津 きよか

鉢盛中学校には一年間お世話になりました。二年先輩の皆さんから鉢盛中学校の生徒ということになっていました。が、実際に新校舎で中学生生活を送ったのは、私たちの学年からでした。

校舎は畑の中にあり、轍と草の道が通路でした。暖房がダルマストーブからスチーム暖房に変わり、スチームの吹き出し口は卒業する時には変形していました。
生徒会の組織も一からの出発で、先生方のご尽力でアウトラインが作成され、生徒たちを導いてくださいました。どんな歴史の一ページが刻まれたのか分かりませんが、今でも紺、黄、緑のネームプレートが使用されているのを見ると、懐かしさを覚えます。



現校舎 (平成7年改築)

鉢盛は部活動が盛んです。陸上やスケートなど全国大会で活躍している人もいます。私はサッカーを頑張りました。お互いに刺激し合い、信頼できる仲間と出会い、日々練習に取り組みました。顧問の先生方も熱心に指導してくださり、最後の夏季大会は県ベスト8まで勝ち進むことができました。
生徒会活動では、学芸委員として、文化祭や音楽集会で全校合唱曲の伴奏を担当しました。校歌も伴奏しました。校歌は長い間、多くの先輩方が歌い続けてきた曲です。ので、これから先も大切にしたいと思えます。

鉢盛中学校在校生 3年
丸山 絃貴

お知らせ

12月12日(土)は今井公民館図書視聴覚委員会主催によるクリスマス会が行われました。改装されたばかりの西館2階の大会議室には、お家の方向で15名程集まりました。

人形劇団やまんばによる「タヌキのお月見」は和尚さんの小坊主、タヌキと手作りの大きな人形がともしやかに動きます。子ども達も夢中で見入っていました。

西館の改装祝いにと獅子舞も披露されました。獅子と一緒に写真もとってもらい、素敵なクリスマスプレゼントになりました。「人形劇が面白かったです。獅子がちょっと怖かったけど3年生だから我慢してたよ。」と公園西の梨



交流の場、子ども達と人形劇を楽しんだ。

市政に届け！今井の声

12月17日(木)、「今井地区市政まちかどトーク」が行われ、約70人が今井改善セン

ターに集まりました。

菅谷市長の挨拶の後、上條幸雄今井地区町会連合会長より、今井地区の取り組みや課題についての説明がありました。

矢嶋明公害対策委員長から提起された「産業廃棄物処理施設問題」については、環境部長から「県に地域の状況を伝え、地域の環境保全に努めていく」と返答がありました。また、田中悦郎農業委員から提起された「春先の砂塵対策」については、農林部長から「網マルチや緑肥麦、土壌硬化剤などの使用も検討していく」と返答がありました。



No.260 「スポーツ 万歳！」

村山和男(北耕)

先日、中学校PTA登下校当番で、赤坂橋で見守っていると、一人の若い女性が大きな声で「おはようございまーす」といいながら、爽やかにあつという間に自転車を通り過ぎて行きました。スケートで頑張っている上條さんでした。トレーニングを兼ねて、

観光農園」について、重盛勲公園西町会長から「町会加入促進策」について、上條幸雄町会連合会長からは「松本山雅関連でアルウインの利用改善策」などについて、活発な提案と質問がなされていました。

今井地区の人口

(平成28年1月1日現在)
(対比平成27年1月)

世帯数	一、五二八戸	(前年比 六戸減)
人口	三、九九三人	(前年比五十一人減)
男	一、九三〇人	(前年比二十一人減)
女	二、〇六三人	(前年比三十一人減)
今年成人者数	四十二名	(市外転出者含む)



子ど会育成会 正月餅つき大会
新春の1月4日(月)、暖かい日差しの中、12名の子どもたち、高齢者クラブや育

高校まで通っているんだなあ、なんだかともワクワクしたことを覚えています。



目標に向かって挑戦している姿が一目瞭然とわかるのがスポーツの素晴らしいところですね。私は全てのスポーツが大好きです。今井のこの地でも、たくさんの方々が多岐のスポーツに挑戦し、楽しんでおられます。

成会協力員の皆さんも合わせ35名が福祉ひろばに集まりました。

「今年は大人より子どもが少ないな。これからもっと減るのかな」との声に一抹の不安を覚えました。

餅米がふかし上がり、いよいよ餅つき。子どもたちが順番で、大人からきねの使い方をおまかせしながら、皆が徐々にうまくお餅をつけるようになりました。



女の子も力強く！

ゴマやきな粉をまぶしたり、お雑煮にしたりして、おいしくいただきました。

す。素晴らしいことだと思います。結果は、その時の体調や運動にも左右されず。でも、それもスポーツの醍醐味！反省して、また新たに挑戦していくことが、とってもおもしろいです。

一番好きなスポーツ？やっぱりテニスかなー！試合でのメンタルの保ち方が、とってもワクワクしてしびれちゃいます。(自分に負けたくないですね！)

北風南風

二〇一六年の暮が来た。暮から大晦日、そして正月と私たちにとっては一年の区切りとなる特別な大切な時期といえる▼そして年

明けの一月七日は別名「七日正月」とも呼ばれ、この日の朝には七草粥を食べる風習がある。この風習の由来は、日本の大昔からある年の初めに草の芽を摘む「若菜摘み」という習慣と、中国で一月七日に七種類の野菜で作った汁物を食べる無病を祈るといいう習慣が合体し始まったという。江戸時代には幕府の公式な行事として武士が七草粥を食べていたらしい▼「春の七草」セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ。それぞれに意味があるという。セリ(競り勝つ)ハコベラ(繁栄がはこびる)等々。人々は七草粥で無病息災を願うと共に、冬に不足したビタミンを補い、正月のご馳走で疲れた胃腸を休めるといいう目的もあったのだろう▼今はありがたいことに、スーパーでセットで七草がそろって昔からの風習が少しずつ失われていく現代。今年一年の平穩無事を祈って、この「七草粥」もぜひ伝えていきたいと思う私である。(H・M)